



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和4年6月22日（令和4年度 第3号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

地域とのつながり

副校長

先日、民生児童委員の方々との懇談会を行いました。昨年度はコロナ禍の影響で実施できなかったもので、2年ぶりの開催となります。学校から生活指導面での様子や学校行事等についての説明後、各民生児童委員さんから学校や地域のことについて意見を述べていただきました。「一中生はちゃんと挨拶する生徒が多い」「職場訪問で来た一中生はとても素直でよい生徒だった」「小さい頃から見ている近所の子が弁論大会で立派に発表している姿を見て、成長に驚いた」等、肯定的な意見が多く寄せられ、一中の教育活動に一定の評価をいただきました。

一方、「地域で子供を見かけることが少ない」という意見も多く聞かれました。少子化、コロナ禍による地域行事の中止、外で遊ぶより室内でゲームをしたり、スマホを見て過ごす生徒が増えている等、様々な理由が考えられますが、人と人の関わりがさらに希薄になっている現状が見られました。インターネットやスマホの普及、GIGA スクール構想による一人1台タブレットの配布等、子供たちの環境は大きく変化しています。大島のような島嶼部の地理的不便さを解消し、最新の情報や欲しい情報が即座に入ってくる環境は大きなメリットがあります。しかし、教育的観点では注意が必要です。教科学習はパソコンやタブレットを通してでもできるかもしれませんが、非認知能力（意欲、協調性、忍耐力、自制心、コミュニケーション能力等）の育成は、人との関わりの中で学んでいくものだからです。学校で起きている様々な問題もこうした背景が強く影響していると感じます。

コロナ禍が少しずつ落ち着きを見せ、今年度は各種行事が実施の方向で検討されています。マスク着用のルールや観客動員数の上限等、各種規制の緩和や見直しが行われ、コロナ禍前の生活に少しずつ戻りつつあります。一中生には、感染症予防対策はしっかりと行ったうえで学校行事や地域行事を通じて多くの人と関り、非認知能力（意欲、協調性、忍耐力、自制心、コミュニケーション能力等）の育成につながる経験を多く積んでほしいと思います。

その他にも「生徒への指導の在り方」「マスクの着用」「人権感覚」「今後の部活動の在り方」「特別支援巡回指導」等、多岐に渡って質疑応答や意見交換が行われ、とても有意義な懇談会となりました。こうした地域の意見を伺い、学校の取組の振り返りや反省に生かし、よりよい学校作りにつなげていきたいと思っています。

令和4年度 進路講演会

5月28日(土)、「今の日本人に足りない要素：セルフプロデュース」というテーマで進路講演会を行いました。ゴールドマンサックス証券会社で約9年間債券トレーダーとして働き、その後ベンチャー企業を立ち上げ、今現在も外国籍の方が多くいる会社の取締役や、投資家でもある彦坂雄一郎様を講師としてお招きしました。仕事柄、海外での活動や日本人以外の方と接する機会が多いため日本人の弱みや強み、また国外からの日本人の評価、キャリアとは何か、中学生は何をしなければならないのか等、普段聞くことができない貴重な話をしていただきました。「新解釈うさぎとかめ」「日本人は世界最高レベルで、起業意欲がない・自信がない・失敗を恐れる」「セルフプロデュースしていく」「親は子供のプロデューサーである」「自分を大切にする、信じる」「キャリアの正体=人からの信用」「今しか考えなくていい。今を大切にすること以上に、大事なことはない」「極を取りにいく」「運は自分で引き寄せる」など心に残るメッセージが多くありました。中学生にとっては少し難しい内容のところもあったかもしれませんが、最後の質疑応答では多くの生徒が手を挙げ、講演会への興味・関心の高さが伝わってきました。今回、お話を聞いて自分の心に火がついた人も多くいたことでしょう。大切なことはその火を自分の心に灯し続けることができるかどうかです。彦坂さんのように常に“Passion(情熱)”をもち続けたいですね。



～生徒感想～

私は、この進路講演会で日本人に足りないことや、キャリアなど人生において大切なことをたくさん学ぶことができました。また自分についても見直すいいきっかけとなりました。特に「日本人であることを忘れるのが大事」という言葉が印象に残っています。初め聞いたときはびっくりしましたが、考えてみると確かに大事なことだなと思いました。私も自信がなく、行動に移すことができないことがあります。そんな時に、この言葉を思い出して、行動に移せるような人になりたいです。この進路講演会で話を聞いて本当によかったです。(1年・女子)

彦坂さんの話は、自分のような人にアドバイスをくれているような気がして、すごく分かりやすかったですし、楽しい進路講演会になりました。自分は今まで魚が好きだから水族館に関係のある仕事をしてみたいと思っていました。しかし、彦坂さんの話を聞いて、人を感動させられるような仕事、アップルやスマホのような機械を作るような仕事に関わりたいなと感じました。仕事はお金を稼ぐためもあるけど、1番は自分の好きなことをやるのが大切だと思いました。でもそれをやるためには運や人からの信頼が必要なんだと思いました。だからいつも明るくて、話しかけやすく、みんなから信頼されるような人間になって運を味方につけて、自分の好きなことをできるようになりたいと思いました。(2年・男子)

今回の講演会で私は多くのことを学び、改めて考えることができました。生き方については“5 What”好奇心、挑戦、前向き、ユーモア、リーダーシップが大切だということ。キャリアではセルフプロデュースすることが大切だということ。お金では、やりたいことのために必要で、お金のために働くのではないということ。運に関しては、積み重ねを行ってれば運は自ずと訪れるということを知り、私に新しい考えが生まれました。色々なことを教えてもらった中で、1番心に残った言葉が「今しか考えなくていい、今を大切にすること以上に大事なことはない」です。見通しをもつことは大切だとずっと思っていたのですが、先のために今が大切なのだと知り、この言葉が1番心に響きました。今回の講演会で教えてもらったことを今から先に生かせるように行動していきたいです。(3年・女子)

1年生「校外学習」

5月12日(木)に南部の波浮方面へ校外学習に行ってきました。郷土学習の一環として、南部波浮方面について一人1テーマを担当して調べ学習を行い、班で見学するコースを決めて校外学習に臨みました。慣れ親しんだ土地でしたが、調べてみると知らないことがたくさんあったようです。



当日の班別行動では、班長がリーダーシップを発揮して班員をまとめてい

ました。自分たちで決めたコースに従って、全ての班が時間通りにトウシキヘリポートまで戻ってくることができました。波浮港で休憩時間をとる班が多くあり、学習するところ、みんなで楽しむところとメリハリをつけながら学ぶことができた1日でした。

事後学習では、実際に訪れた場所や体験した場所で学んだことを、パワーポイントにまとめ、発表を行いました。今回は次の点を意識して発表できるように指導しました。

- ① 1人300字程度の原稿を暗記して伝えること。
- ② 視覚資料は原稿の要点になるようにし、それ以外の部分は口頭で伝えること。

暗記での発表にかなり緊張している様子でしたが、どの生徒も緊張を乗り越えて発表ができたのは大きな収穫です。準備段階から、学習係を中心に役割を分担したり、発表の工夫をしたりしている姿がとても印象的でした。3年生の修学旅行の事後学習発表会に向けて、様々な体験をし、以上の2点を当たり前にするだけでなく、表現力をさらに高めていきたいと思えます。

〈発表の様子〉

〈1班〉



〈2班〉



〈3班〉



〈4班〉



〈5班〉



～夏の選手権大会報告～

★野球部 (主将 市村 友之介)

《大会結果》 中学生合同チーム 4 - 9 大人チーム

私は今回の大会を通して、私たちのチームにはたくさんの課題があると感じました。ベンチからの声掛け、チャンスでヒットが出ない、相手チームに点数を取られると雰囲気が悪くなってしまふなど、都大会までに改善しなければならぬと感じるものがありました。そのために、これから都大会に向けての1か月間、都大会ベスト8を目指し、課題を改善するための練習を積み重ねていきます。そして最後の大会となる都大会に全力で臨み、悔いの残らないようにしたいです。応援してくださった保護者の方々、試合のために力を貸して下さった大人チームの方々、審判の方々、支えて下さったすべての方々、本当にありがとうございました。



★バレーボール部 (主将 山室 萌和)

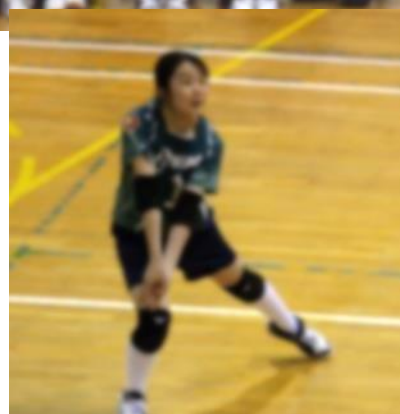
《大会結果》

1位 バレー大好きチーム

2位 大島連合Aチーム

3位大島連合Bチーム

私たちバレーボール部は、6月11日に行われた研修大会に出場しました。結果は、1位バレー大好きチーム、2位大島連合Aチーム、3位大島連合Bチームでした。AチームもBチームも最後まで諦めずにボールをつなぎ、今できることを精一杯やりました。これまでの練習の積み重ねはもちろん応援してくれた保護者、地域の方、試合をしてくれたバレー大好きチームのおかげで全力で、プレーすることができました。島嶼大会でも皆さんの応援を力に変えて頑張ります。



令和4年度 大島町中学校サッカー選手権大会

は1中対2・3

中合同チームの試合となりました。前半は1-4で折り返しましたが、後半は6-1と怒涛の追い上げを見せ、合計7-5で勝利することができました。今年の1中は1年生が6人、2年生が1人のチームでスタートしました。強い相手には走り勝つしかないと覚悟を決めて、運動量の多い練習を重ねた努力が後半に実を結びました。これからは、7月の島嶼大会優勝と都大会出場に向けて、大島町サッカー連合チームとして練習をしていきます。

これからも、ご声援とご協力をお願いいたします。



令和4年度 中体連大島支部ソフトテニス選手権大会

私は選手権大会で様々な課題を見付けることができました。決めようとし過ぎて、セカンドサービスやストロークが入らなかつたりパワーショットがあまり打てなかつたり等の課題です。都大会では、大会での経験を生かし、自分の長所を發揮できるように全力で頑張ります。ペア、チームであることを忘れずに部長として全体を引っ張り、目標に向かって練習していきたいと思います。引き続き応援よろしくお願ひします。

私は今回の選手権大会で様々な課題を見付けることができました。普段なら落ち着いて対処できるボールも緊張してネットやアウトをしてしまいました。都大会では、慣れない環境でさらに緊張すると思うので、普段の練習で自分の改善点を意識し、チーム皆でプレーの質が上がるように頑張ります。都大会で一勝でも多く勝てるように頑張るので応援よろしくお願ひします。



くろしお学級のコーナー



じゃがいも掘り



大島高校出前授業

大島丸見学



修学旅行に行きました
修学旅行で京都・奈良へ行きました。歴史ある建築物や大きな仏像は初めて見るものばかりで、感動の連続でした。決められた仕事に責任をもって取り組むことができ、また事前学習、事後学習にも参加したことで学びを深めることができました。



高校出前授業

6月2日(木)、16日(木)3年生を対象に出前授業を行ないました。2日は大島高校、16日は大島海洋国際高校の先生方をお招きし、各学校の特色を生かした授業を行っていただきました。

○大島高校

5時間目の情報の授業では、日本語でプログラミングができる教材を活用してプログラミングについてとコンピューターが情報を処理する流れについて学習しました。実際にミニゲームを制作しながら取り組むことでコンピューターが明確な命令でないと動くことができないことやプログラミングには数学的な知識も必要であることを学びました。



6時間目の家庭科の授業では、「食事バランスガイドを活用して一日で食べる食事の栄養バランスを整えながら夕食のメニューを考えよう」という課題のもと、班ごとにテーマを決めて夕食のメニュー作りに取り組みました。学習の中で改めて食事は栄養バランスとおいしさの兼ね合いが大切であることや食事の役割について学びました。



○大島海洋国際高校

海洋の授業を実施していただき、大島の海の透明度の高さが世界でも5本の指に入ることや大島の海の魅力を生かした観光について学習をしました。

高校の授業をイメージでき、今後の授業や進路を考える貴重な機会となりました。正解が1つではない課題に向き合い、考えることが重要であることを改めて学びました。



7月行事予定

7月 5日(火) 職場体験(2年)
~7日(木) 同上
7月 9日(土) 学校公開日 保護者会
道徳授業地区公開講座
7月 13日(水) 避難訓練(一斉下校)
7月 19日(火) 防災教育発表(2年・避難センター)

7月 20日(水) 終業式 大掃除
7月 21日(木) 夏季休業日(始)
7月 25日(月) 夏季水泳指導・夏季学習教室(始)
7月 30日(土) 校内水泳記録会
SC来校日: 1日、7日、8日、14日、15日